



地域とともに学び、 茨城の未来を支える先生へ

●● 茨城大学教育学部地域教員希望枠 ●●



地域教員希望枠とは

地域教員希望枠は、茨城の教育を支える先生を育てるために、
茨城大学教育学部が導入した入試です。

地域教員
希望枠入試
総合型選抜

実践力養成
プログラムの受講

茨城県
教員選考試験
特別選抜の受験

目 的



地域教員希望枠では、地域の教育課題に向き合い、学校現場で力を発揮できる専門性の高い教員の養成を目指しています。

学びの特長

地域教員希望枠では、実践力を重視した学びができます。
大学での授業とあわせて、学校現場での体験や実習を重ねながら、学んだことを現場で活かす力を育てていきます。



地域と連携しながら学ぶことで、教員としての基礎だけでなく、
地域の教育を支える視点や姿勢を自然と身につけていくことができます。



2/

なぜ今、地域教員希望枠なのか

茨城県の教育課題に対応できる専門性の高い教員を育てます。

茨城県の教育課題と地域教員希望枠の必要性



学校に行きづらい子ども



特別な支援が必要な子ども



外国にルーツのある子ども

子ども一人ひとりに寄り添える先生が必要

地域教員希望枠

学習支援・学級づくりのスペシャリスト教員を育成
(教育実践科学コース・特別支援教育コースで募集)

授業づくり・教科専門のエキスパート教員を育成
(英語選修・理科選修・技術選修で募集)

茨城大学と茨城県教育委員会が連携し、高度な専門性を有する教員を育成していきます。

一人ひとりの子どもに寄り添い、学びを支えることは、
これからの学校にとって欠かせない役割です。
そのためには、教科を教える力とともに、
子どもの状況を理解し、安心して過ごせる
学校や学級をつくる力が、いま求められています。



地域教員希望枠が目指す教員像

地域教員希望枠では、教科の深い学びと、学校の中に居場所をつくるスペシャリスト教員の養成を行います。子ども一人ひとりの状況に目を向け、誰一人、取り残さない教育を実現できる専門性の高い教員を育てていきます。

3

教育学部の学びの特長

地域教員希望卒の学びは、茨城大学教育学部の教育を土台として展開されています。



実践的な学び

茨城大学教育学部では、知識を学ぶだけでなく、学校現場で活かせる力を段階的に身につけていきます。1年次から学校現場で学べるインターンシップをはじめ、実践を通して学ぶ機会が多く用意されています。



科学的な学び

茨城大学教育学部では、教育を感覚だけでとらえるのではなく、科学的に探究する姿勢も大切にしています。授業や実習、卒業研究を通して、「なぜそうなるのか」「どうすればよいか」を考え続ける力を養います。

深く学ぶための支援体制

教育現場をよく知る教員から、実体験にもとづいたアドバイスを受けられることも大きな特長です。学びの過程で悩んだときも、一人で抱え込まず、相談しながら成長できる環境があります。

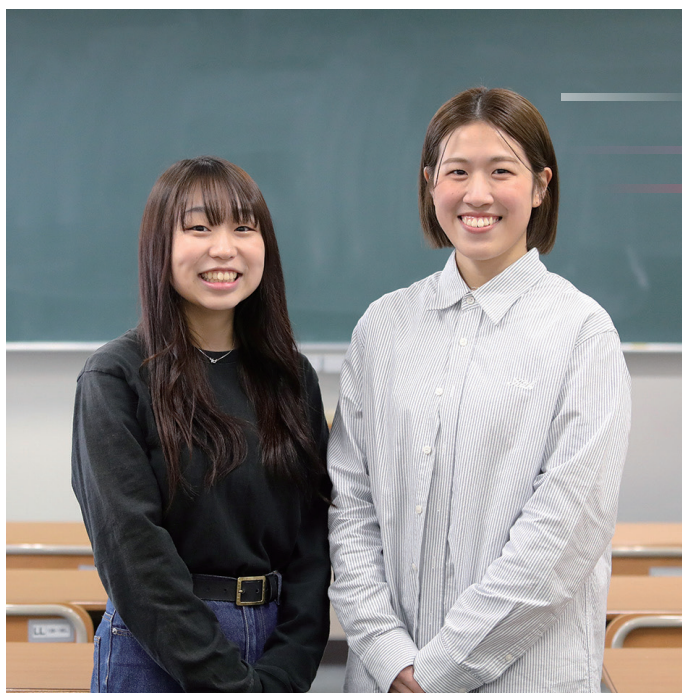
4

学習支援・学級づくりのスペシャリスト

子どもたちが学校で感じる困難は、一人ひとり異なります。

学習のつまずき、集団へのなじみにくさ、言葉や文化の違いなど、その背景はさまざまです。

学習支援と
学級づくりを軸に、
学校の中に
子どもが安心して
過ごせる居場所を
つくる



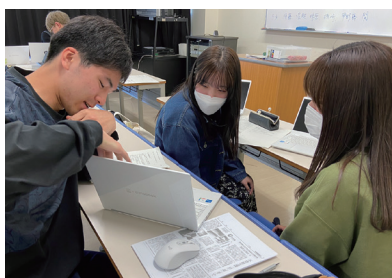
以下の3つのプログラムのいずれかを受講し、学習支援・学級づくりのスペシャリスト教員を育てます。



特別支援教育プログラム

〈特別支援教育コースに所属〉

障がいのある子どもの困難の背景を科学的に理解し、一人ひとりの特性に合わせた支援や教材づくりを学びます。



いじめ・不登校対応 子どもの居場所創設プログラム

〈教育実践科学コースに所属〉

学級づくりの視点から、すべての子どもにとって安心できる学校をつくる方法を学びます。



外国にルーツのある子どもを含む 学習困難児の教育支援プログラム

〈特別支援教育コースに所属〉

言語や文化の違いに目を向けながら、子どもや家族の状況を理解し、学習や学校生活を支える力を養います。

5/

授業づくり・教科専門のエキスパート

子どもたちが「分かった」「できた」と感じる瞬間は、授業の工夫から生まれます。
教科の専門性は、知識を教えるためだけではなく、学びを楽しく、深くします。



以下の3つのプログラムのいずれかを受講し、授業づくり・
教科専門のスペシャリスト教員を育てます。



小学校実践理科プログラム

〈理科選修に所属〉

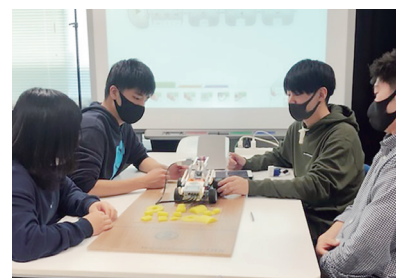
観察や実験を通して、子どもの「なぜ？」を引き出す理科の授業づくりを学びます。



小学校実践英語プログラム

〈英語選修に所属〉

英語で伝え合う楽しさを大切にし、子どもが自然に参加できる英語の授業づくりを身につけます。



プログラミング指導力 養成プログラム

〈技術選修に所属〉

考える過程を大切にしながら、論理的に試行錯誤できる力を育てる授業づくりを学びます。

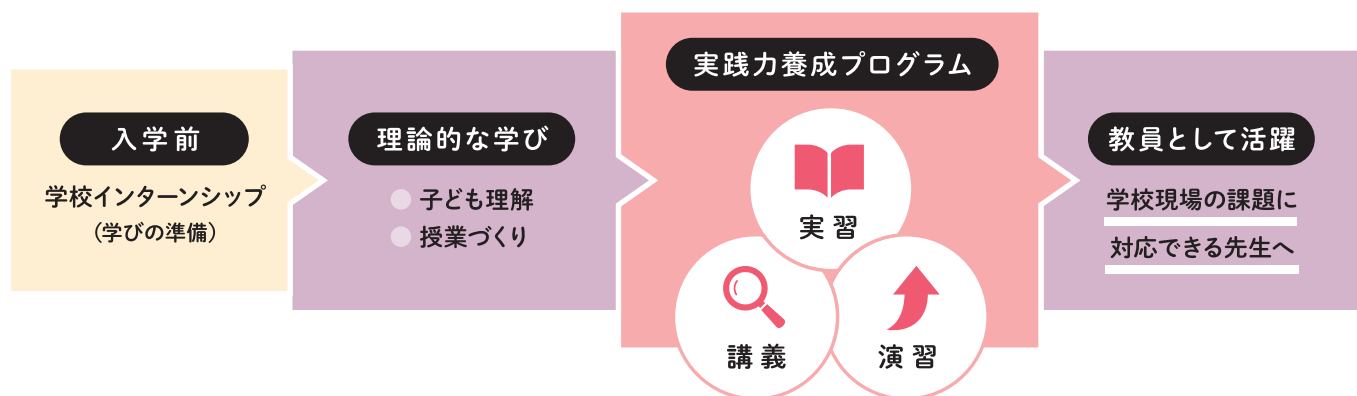
6/

実践力を身に付けるカリキュラム

入学前から卒業後まで学び続ける教員を育てます。

大学での授業や実習を通して、子どもに寄り添う力、授業をつくる力、現場で考え続ける力を段階的に身につけていきます。学んだことがそのまま現場につながっていくことが、地域教員希望枠の大きな特長です。

学びの流れ



未来の姿

地域教員希望枠の学びによって、教員になって直面するさまざまな諸課題に対して、自ら考え、解決方法を見つけ出すことができる力が身に付きます。

教員になって困ったときは？

茨城大学教育学部はホームカミングデーなどを通じて卒業後もみなさんを支援します。



あなたの学びが、誰かの居場所になる。

地域とともに学び、地域の未来を支える先生へ。



教育学部

<https://www.edu.ibaraki.ac.jp/>



課程・コース・選修一覧

<https://www.edu.ibaraki.ac.jp/guide/course/list/>



地域教員希望枠

<https://www.edu.ibaraki.ac.jp/guide/course/list/tiikiwaku>